

テコンドー田中光哉選手がパラリンピック代表に内定しました。

2020年02月25日

テコンドー田中光哉選手がパラリンピック代表に内定しました。

久留米市出身として決意表明

うれしいニュースが飛び込んできました。

久留米市出身の田中光哉選手が、東京2020パラリンピックのテコンドー競技日本代表に内定しました。

田中選手は、1992年生まれのもの27歳。先天的に両肘から先に障がいがあります。

剣道やサッカーなど、さまざまなスポーツを経験してきました。そんな中、パラテコンドーと出会い、競技を始めて、なんと3年で国際大会で優勝するほどの実力の持ち主です。

当初は75kg級でしたが、世界に勝つために、階級を1つ下の61kg級に落とすことを決意。約3か月でなんと13～4kgも減量。1月26日に東京で行われたサンマリエ・カップで優勝し、パラリンピックへの切符を手に入れました。

パラリンピック内定後の2月20日には、大久保勉市長を表敬訪問しました。

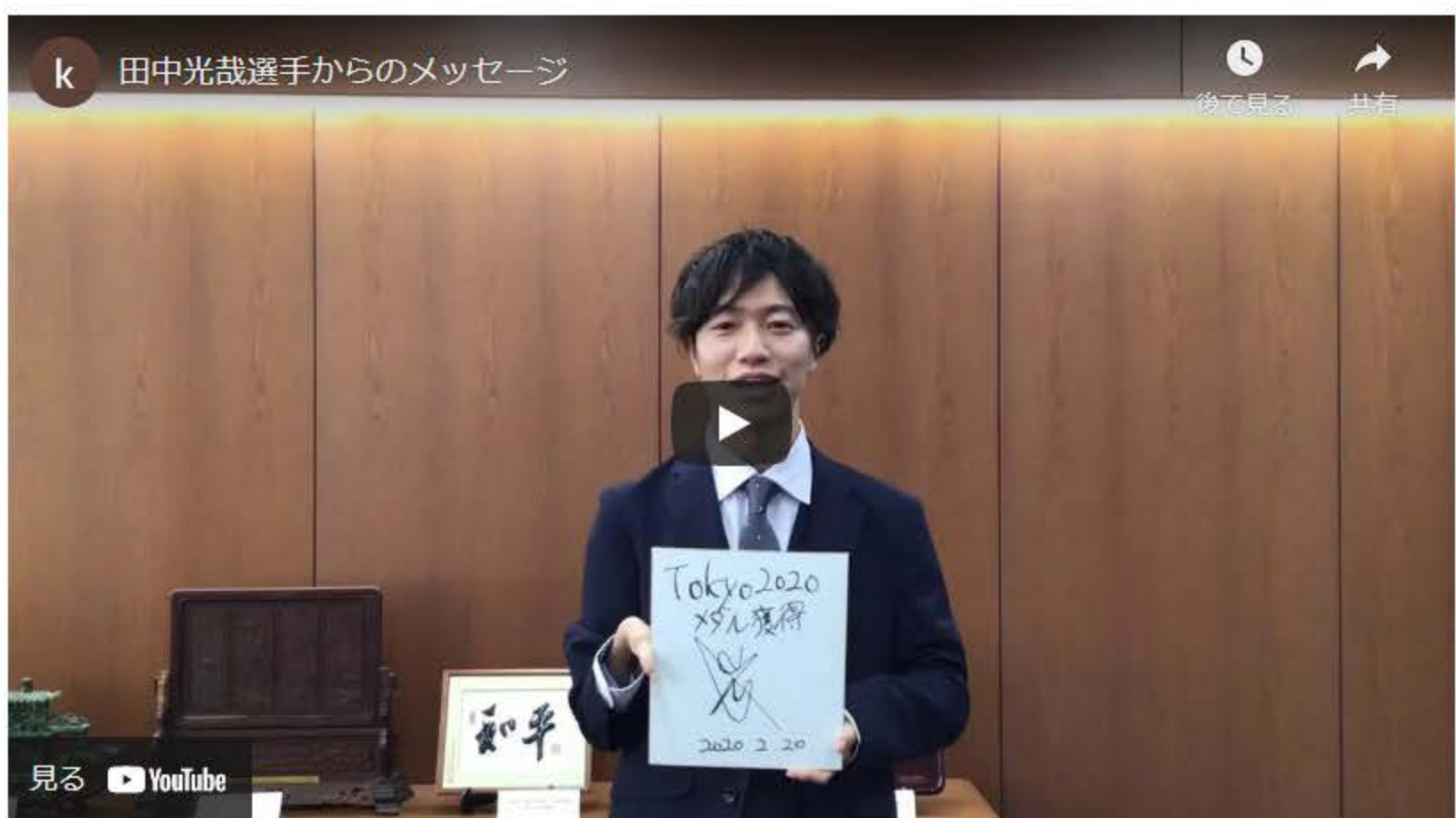
田中選手は、パラリンピックへの決意を、「久留米市のためにもがんばる」と熱く語りました。



パラリンピックへの決意を熱く語ってくれました。



市役所1階では、写真入りの応援幕がお目見えしました。



We have good news to tell you today.

Mitsuya Tanaka from Kurume city has been appointed as the representative of Japan for the Taekwondo competition at the Tokyo 2020 paralympics. He is 27 years old, and he has congenital disability from both elbow. He has experienced many kinds of sports, Kendo, soccer, and etc. from his childhood. He won the Taekwondo international competition after only 3 years he had started Taekwondo. He won the tournament held in Tokyo on 26th of January, then he was appointed as the representative of the Tokyo Paralympics. To report this good news to Mayor Okubo, he visited the Kurume City Hall on 20th of February. He strongly expressed his determination to do his best to the Paralympics.